



SAPPORO

第35回

# 万有仙台シンポジウム

生物応答と分子機能に挑戦する有機合成：四半世紀を経て

2024 **5.18** SAT

SENDAI

対面開催を主とするハイブリッド形式での開催を予定しています。

参加登録受付、講演要旨等、詳細をご案内していますのでMSD生命科学財団ホームページをご覧ください。  
<https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/sendai>

FUKUOKA

参加  
無料

## Lectures

星本 陽一	大阪大学大学院工学研究科	分子触媒の新手：フラストレーションを制御する機能の探求
正岡 重行	大阪大学大学院工学研究科	金属錯体で創る光合成反応触媒
甲村 長利	産業技術総合研究所	新規有機材料開発から製造プロセス革新まで ~四半世紀にわたる私の研究変遷~
生越 友樹	京都大学大学院工学研究科	日本発の環状ホスト分子「Pillar[n]arene」：発見から分子空間化学への展開
藤本 ゆかり	慶應義塾大学理工学部	自然免疫受容体発見から四半世紀：微生物由来活性分子の有機化学
松永 茂樹	京都大学大学院理学研究科	キラル分子触媒の設計と機能探索：25年の変遷

- 【日時】 2024年5月18日（土）11:00-20:00  
【会場】 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 仙台市青葉区川内40  
【主催】 万有仙台シンポジウム組織委員会  
【共催】 有機合成化学協会東北支部、東北大学大学院理学研究科  
【協賛】 公益財団法人MSD生命科学財団  
【後援】 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、有機合成化学協会

Organizer

寺田 眞浩 東北大学大学院理学研究科

【問合せ】

第35回万有仙台シンポジウム事務局 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
東北大学大学院理学研究科 TEL：022-795-6602  
寺田 眞浩 / 近藤 梓  
E-mail：banyu\_sendai35@grp.tohoku.ac.jp